

車座談議の概要（植田自治会）

1 日 時 平成 25 年 10 月 3 日（木） 19：00 ～ 20：15

2 場 所 植田地区公民館

3 出席者 植田自治会 10 人

沼津土木事務所都市計画課

4 いただいた主なご意見

- ・ 市は原地区西部に迷惑施設ばかり持ってくる。
- ・ 原地区に貨物駅が移転されれば、植田地区や原地区にはデメリットしかない。
- ・ 新貨物駅が原地区に整備された場合、貨物列車ほどの程度、貨物駅を利用するのか？
- ・ これまでは沼津市が貨物駅の用地買収を進めていたのに、それが4年位前から県が出てきて、主体が変わったように見える。市から県に変わったのか？
- ・ 今の沼津には、代替案9の橋上駅くらいがいいと思う。確かに、鉄道高架が一番いいかもしれないが、事業費や少子化の事を考えると、橋上駅で十分ではないかと思える。
- ・ 植田自治会で一番気になるのは、植田踏切。貨物駅が移転することで、開かずの踏切になることが一番ネック。植田自治会で貨物の移転に賛成する人はいないと思うが、貨物が移転されるのであれば、それなりの対策をとって欲しい。
- ・ 植田踏切付近は、変則的な交差点になっている上、踏切が隣接しているのでとても危険。通学路としても利用しているので、吉原駅にあるような地下道を植田踏切のところへ設置して欲しい。



車座談議実施状況